

はぐくむ光のびる若芽

115

小川台 鈴木育代

結婚して早10年、長女8歳、長男5歳、一男3歳と賑やかな子供たちにも囲まれ、ただ無中で毎日が過ぎて行つたように思います。

改めて振り返ると、私は母親としてこの子供たちにどんな事を教えてきたのでしょうか。

ある日、私と主人が話をしていると、長女が嬉しそうに走つて来ました。「お父さんとお母さんが笑つてる」と、ポンポン跳ねながら大喜びをしています。私は娘の言葉に、はっとしました。普通の家庭ではあたりまえの事ですが、考えてみると、私たち夫婦が仲よく話をしている事などこの10年間のうち何回あったでしょうか。特に最近はどうだったのでしょうか。慌ただしく毎日を過ごして来た私たちの生活を娘はずっと見て来たのです。子供心に不安で一

杯だつたに違いありません。私たちが笑顔忘れないう事が、この子供たちの心を豊かにして行くのだと思

が多かつたように思えます。私自身、忘れかけていた楽しい家庭の有り方をわが娘に教えられ、これからは笑顔の絶えない家庭を心掛けて、子供た

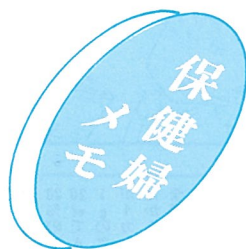
笑顔の絶えない家庭を



▶「子供たちに教えられることが多い10年でした」

私はこの10年間、子供たちに教えられることのほつ

ちと共に私も母親として成長して行きたいと思えます。



家庭介護のポイント

着替え

◎手順

|| 着せる時は不自由な手足から、脱がせる時は自由のきく手足から ||

脳卒中などで片側の手足が不自由な場合に着せる手順は、まず不自由な手足を通し、ついで自由のきく手

足を通します。脱がせるときには、逆に自由のきく手足から脱がせます。座位がとれるときは、できるだけすわらせて着替えをしましょう。

寝たままでの着替えも、手足の不自由な側から着せお年寄りを横向きにして残りの半分をロール状に巻いてからだの下に入れ、つぎに逆の横向きにして、自由のきく、手足を通します。脱がせるときは、この逆の手順で行います。

◎衣服のくふう

衣服は、それを利用するお年寄りにとって「着心地のよいこと」が第一ですが介護するには、さらに「着替えしややすいこと」「排便

やおむつの世話がしやすいこと」「洗たくしやすいこと」が大切です。そうした条件からは、上下分離式の衣服がよく、ボタンは、マジックテープなどにすると取りはずしが便利です。また、痴呆がみられるお年寄りでは、おむつをはずしたり、手で便などをいじるなどの行動をとることがあります。こうした場合には、つなぎ式の衣服なども使うとよいでしょう。

●寝た姿勢での着替え



●すわった姿勢での着替え

